

# 暗唱のすすめ 俳句二十撰・夏の句②

・ やれ打つなはへが手をすり足をあしする

小林一茶こばやし いっさ

・ 閑さや岩にしみ入蝉のこえ声

松尾芭蕉まつおばしやう

・ 朝顔あさがおにつるべとられてもらい水みず

加賀千代かがのちよ

・ さじなめて童わらべの樂しも夏氷なつごおり

山口誓子やまぐちせいし

・ 夏河なつかわを越すうれしさよ手に草履ぞうり

与謝蕪村よさぶそん